

こそあど言葉(指示語)

2-3

3 適語選択

- (1) 発表会で()ことをしたいか、発言してください。
ア こんな イ そんな ウ あんな エ どんな
- (2) 向こうにある()の箱には何が入っていますか。
ア こちら イ そちら ウ あちら エ どちら
- (3) 鍵穴に差し込んだら、()まま右に回しなさい。
ア この イ その ウ あの エ どの
- (4) 今も、()からも、ずっと友達だよ。
ア これ イ それ ウ あれ エ どれ
- (5) 先ほどの君の()いう態度は良くないよ。
ア こう イ そう ウ ああ エ どう

4 適語補充

お前はいったい今()から電話をかけているのか。

5 例にならって、下線部のこそあど言葉が指し示している内容を書きなさい。

[例] 茶柱がたてば、それはよいきざしだ。→茶柱がたつこと

- (1) 僕たちは、扉を開けて倉庫に入ってみた。やはり自転車はそこにあった。
→[]
- (2) 君たちにはお楽しみ会の準備をまかせていたけど、そちらのほうは大丈夫ですか。
→[]
- (3) 私は本当はまったくさびしくはないのだけれど、あなたにはそう見えるのね。
→[]
- (4) こうは考えられないかな。つまり、君の考えには一つの重大な欠点があるのだよ。
→[]